

# 「青少年・治安対策」報告書要旨

## 1 「見える化」分析の要旨

- ・ 事業の体系、予算、取組、各主体の役割等を「見える化」した上で、主に以下の視点から分析を実施

### (1) これまでの対策による成果

＜分析指標＞ 刑法犯認知件数、交通事故発生件数 等

- ・ 都内の刑法犯認知件数は、戦後最少を記録
- ・ 社会情勢が変化する中、青少年の健全育成や自立支援に資する新たな施策を展開（家庭や学校におけるネットルール作り支援、若者総合相談、ひきこもり相談など）
- ・ 都内の交通事故発生件数は毎年減少、死者数は戦後最少を記録

⇒犯罪や事故の発生件数は、総数では改善

青少年を取り巻く環境変化を踏まえ、新たな施策を展開

### (2) 最近の犯罪・事故等の傾向や、青少年を取り巻く環境

＜分析指標＞ 子供に対する犯罪認知件数、児童ポルノ事犯の被害児童数、高齢運転者事故件数割合 等

- ・ 新たな手法による犯罪や、子供等の弱者を狙った犯罪等は依然として発生
- ・ 再犯者数は減少している一方、再犯者率は年々上昇
- ・ 児童ポルノ事犯のうち、特に「自画撮り被害」が急増
- ・ 高齢運転者の事故件数割合は毎年上昇（高齢者の運転免許保有者数を上回る上昇率）

⇒子供や高齢者等の弱者を狙った犯罪など、新たな犯罪や深刻な課題が存在


# 「青少年・治安対策」報告書要旨

## (3) 都民等の意識

〈分析指標〉 国別外国人旅行者行動特性調査報告書、都民生活に関する世論調査

- ・訪都外国人が考える東京の魅力、第3位「治安がよい」(54.3%)
- ・「都民生活に関する世論調査」では、治安対策への要望は毎年上位(2017(平成29)年調査では、男性20代、40代、女性20～40代では第1位)

⇒治安の良さは東京の魅力になっている一方で、更なる対策が求められている現状

 最近の犯罪・事故の発生状況等を踏まえ、対策の強化や新たな対策の検討が必要

## 2 今後の改革の進め方

### (1) 来年度に向けて対策強化を検討

- ・子供の安全対策として、子供の危険予測・回避能力向上を図るため、指導者の育成や家庭における教育の推進
- ・高齢者の交通安全意識を高めるため、高齢者の特性を踏まえた更なる普及啓発

### (2) 新たな対策を検討

- ・再犯防止推進法の施行や、国における計画策定の状況を踏まえた対策
- ・青少年を性被害等から守るため、新たな規制を含む東京都青少年健全育成条例の改正や更なる普及啓発